

2022年5月2日09:30 (日本時間) / 00:30 (協定世界時) まで公開禁止

auじぶん銀行 日本製造業PMI®

4月、製造業の業況は緩やかに回復

主な動向

新規受注数の増加に足踏み。生産高は変化なし

購買価格高騰の中、工場渡し価格は記録的上昇

企業の景況感、2020年7月以来の低水準に低下

2022年4月のデータ収集期間：2022年4月11～22日。

4月のデータによると、2022年第2四半期初めの日本の製造業の業況は、緩やかだが堅調に改善した。企業らは、新規受注数の増加が緩やかになり、今月は生産高が広い範囲で変化なしだったことを報告した。また、サプライヤーの納期長期化や原材料不足が需要と生産高に大きく影響したことがコメントとして多く寄せられた。特に、調査史上最も大幅に購買価格が上昇していることが要因で、4月は販売価格が調査史上最高値を更新した。製造業はまた、ウクライナの紛争と中国のロックダウン再導入により、原材料不足と納期遅延が悪化したことをコメントに寄せ、これを受けて企業の見通しは21か月ぶりの低水準に低下した。

4月の主要指数のauじぶん銀行日本製造業購買担当者指数™(PMI) (製造業の全体的業況を表す指標)は、3月の54.1から53.5に低下。過去6か月間で2番目に低水準を示した製造業の健全性は、回復がより鈍化したことを示した。

主要指数が前月から減少したのは、新規受注数増加の勢いが弱まったことも一因である。売上高は7か月連続で増加したが、全体的に緩やかなペースにとどまった。企業らは、サプライヤー納期の遅延と、ロシアとウクライナの紛争により成長が抑制されたことをコメントに寄せた。地政学的緊張の高まりと中国における新型コロナの感染拡大は引き続き輸出受注に大きく影響し、2か月連続で著しく減少した。

4月、生産高は2か月連続で増加したが、成長率は3月とほぼ同水準である。企業らは受注数の上昇を生産高増加の要因に挙げたが、購買品の確保が困難なためさらなる増加を抑制した。

サプライチェーンが引き続き混乱する中、第2四半期に入り1月以来購買活動の上昇率は最大となった。日本の製造業は、供給不足と価格高騰により、購買品の調達に苦慮していることを指摘した。サプライヤー納期長期化は4月も著しく悪化し、平均納期は調査史上最悪となった。悪化のペースは概ね変化していない。企業らはこれを受けて購買品在庫数の増強に努めた。

(次頁に続く)

auじぶん銀行 日本製造業PMI
季節調整済み、>50 = 前月比で改善

出典：auじぶん銀行、S&Pグローバル

コメント

S&P グローバルエコノミスト、Usamah Bhattiによる最新調査結果についてのコメント

「最新PMIデータは、2022年第2四半期に入った時点で日本の製造業の回復が続いていることを指摘している。しかし、企業らは新規受注数増加の鈍化と、生産高も広く横ばいであったため、成長率は3月から緩やかになった。

企業による新製品発売など、国内需要が成長を牽引したが、中国のロックダウン措置再導入が、海外需要を圧迫していた。さらにウクライナ紛争による影響も相まって、製造業全体のサプライチェーンは混乱が続いた。

原材料不足と購買コスト上昇の中、製造業は購買品の調達や納品受領に苦戦し、納期の遅延と価格高騰が続いている。それが原因となり、生産高と売上は伸び悩んだ。間接費が顕著に上昇し、日本の製造業の販売価格のインフレ率は調査史上最大となった。

ある程度の楽観度は維持されてはいるが、日本の製造業は価格や供給の圧力、そしてウクライナ紛争や、中国のロックダウンの影響に対し懸念を強めている。こうした状況を受けて、企業の見通しは2020年7月以来の低水準に低下した。」

4月のデータは、日本の製造業では原材料価格上昇により平均間接費のインフレが高進していることを示した。購買価格は23か月連続で上昇し、調査史上で5番目に高い指数に加速した。その結果、販売価格のインフレ率は調査史上最大となった。

製造業はこれについて、原材料の供給不足のため既存注文の納品が困難であったとコメントし、そのため受注残の上昇が続いている。また、企業らは生産量増加に備えて雇用者数を増やした。しかし、雇用増加率は、任意退職者の増加に伴い、過去9か月間で最低水準に低下した。

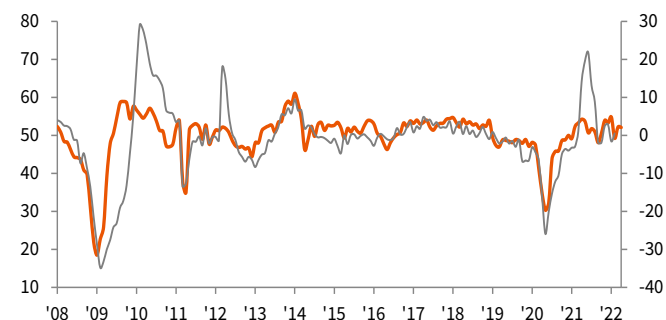
4月はこうした状況を受けて、今後1年間にわたる企業の景況感がさらに緩やかになった。全体的に楽観度は強いものの、2020年7月以来の最低水準となった。企業らは、価格及び供給問題が解決すれば広く経済の回復につながるだろうと期待する一方、新型コロナや、ロシアとウクライナ紛争の長期化の影響を懸念している。

PMI生産高指数

季節調整済み、>50 = 前月比で増加

製造業生産高

前年比 (%)



出典: auじぶん銀行、S&Pグローバル、経産省

お問い合わせはこちらどうぞ

auじぶん銀行

Grp-S-I-Room@jibunbank.co.jp

Usamah Bhatti

エコノミスト

S&Pグローバル

電話: +44 1344 328 370

usamah.bhatti@spglobal.com

Joanna Vickers

コーポレートコミュニケーション

S&Pグローバル

電話: +44-207-260-2234

joanna.vickers@spglobal.com

調査方法

auじぶん銀行日本製造業PMI®は、S&Pグローバルが製造業約400社の購買担当者に毎月調査を行い、その回答をもとにまとめています。調査対象企業は、GDPへの貢献度に従い産業セクターおよび従業員数別に階層化されています。

調査回答は前月比での変化を示すもので、各月の後半に収集されます。これにもとづき、サブインデックスごとの拡散指数(ディフュージョン・インデックス)を算出します。各指数は「増加/上昇」と回答した企業の比率と、「同じ」と回答した企業の比率の半分の合計です。数値は0~100の間で変動し、50を超えれば前月比で全体として増加したことを、50を割り込めば全体として減少したことを意味します。そのうえで指数に季節調整が加えられます。

主要指数は購買担当者指数™(PMI)です。PMIは次の5つのサブインデックスの加重平均です: 新規受注(30%)、生産高(25%)、雇用(20%)、サプライヤー納期(15%)、購買品在庫(10%)。ただしサプライヤー納期指数は、結果として得られる数値が他の指数と比較可能になる計算方法で算出しています。

基本的調査データは発表後に修正されることはありません。ただし季節調査要因は必要に応じて修正されることがあり、その場合は季節調整済みデータに影響が及びます。

2022年4月のデータ収集期間: 2022年4月11~22日。

PMI調査方法の詳細は、economics@ihsmarkit.comへお問い合わせください。

auじぶん銀行日本PMIのスポンサーは

auじぶん銀行株式会社です

auじぶん銀行は2008年にKDDIと三菱UFJ銀行の共同出資により設立されたネット専門銀行です。「手のひらにある銀行」として、口座・金融商品・決済などに関して、スマホユーザー視点でサービス展開をしております。キャッシュカードなしで入出金が可能な「スマホATM」、為替相場の動きを予測する「AI外貨予測」、Amazon Alexaへの対応など、ユーザーエクスペリエンスを豊かにするために様々な取り組みを行っております。

S&Pグローバルについて

S&Pグローバル (NYSE: SPGI) S&Pグローバルは、必要不可欠なインテリジェンスを提供します。政府、企業、個人を対象に、適切なデータ、専門知識、コネクしたテクノロジーを提供し、顧客が確信を持って意思決定ができるようサポートします。顧客が新規投資する際の評価から、サプライチェーン全体におけるESGやエネルギー転換の指導まで、私たちは新たな機会を引き出し、課題を解決し、世界の発展を加速させます。

弊社は、世界の資本市場、商品市場、自動車市場において、信用格付、ベンチマーク、分析、ワークフローソリューションを提供し、世界有数の多くの組織から広く支持されています。弊社の提供するサービスの一つひとつを活用し、世界の一流企業が今日、そして将来に向けた計画を立てられるよう支援しています。
www.spglobal.com

S&Pグローバルのプレスリリースを受け取りたくない場合は、katherine.smith@spglobal.comへお知らせください。弊社のプライバシーポリシーは、[ここをクリック](#)してください。

PMI(購買担当者指数)

「購買担当者指数™(PMI®)」調査は現在、40を超える国々およびユーロ圏等主要地域で実施されています。世界で最も注目される景況調査として、各国中央銀行、金融市場、企業経営者の方々より、経済動向を知るための正確でユニークな最新月間指標としてご利用いただいております。詳しくは、ihsmarkit.com/products/pmi.htmlをご覧ください。

免責事項

ここに提供するデータの知的所有権はS&Pグローバルに帰属し、もしくは使用が許諾されています。当データのいかなる部分についても複製、配布、伝達またはその他の行為を含む無許可の使用は、S&Pグローバルから事前の承諾がない限り認められません。S&Pグローバルとauじぶん銀行は、当レポートの内容またはそこに含まれる情報(「データ」)、データ上のいかなる間違い、不正確な記述、脱落、遅延による、またはそれに関連した責任、義務、負担のいずれをも負うものでなく、またこれにもとづきとられたいかなる行為についても責任、義務、負担のいずれをも負いません。当データの使用によって生じるいかなる特殊、偶発的もしくは間接的損害についても、S&Pグローバルとauじぶん銀行は一切責任を負いかねますので予めご了承ください。Purchasing Managers' Index™およびPMI®はMarkit Economics Limitedの登録商標、もしくはMarkit Economics Limitedに使用が許諾されたものです。S&P GlobalはS&P Global Ltd.及び/又はその関連会社の登録商標です。

ここに提供するコンテンツは、S&P Global Market Intelligenceが公開しています。S&P Globalの別部門であるS&P Global Ratingsが公開するコンテンツではありません。関係当事者から書面による事前の許可がない限り、形態を問わず、評価を含むいかなる情報、データ、資料(「コンテンツ」)の複製を禁止しています。関係当事者、関連会社、サプライヤー(「コンテンツプロバイダー」)は、コンテンツの正確性、妥当性、完全性、適時性、可用性を保証しません。また、いかなる間違いや脱落(疎漏など)、あるいは当該コンテンツの使用により生じた結果に対して責任を負いません。コンテンツのいかなる使用に関連するあらゆる損害、コスト、費用、弁護士費用、または損失(喪失利益や逸失利益、機会費用など)について、コンテンツプロバイダーは一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

PMI®

by S&P Global